

基本方針：3.笑顔あふれるやさしいまち

課 題

提案・意見

良い点

| ① 笑顔あふれる子育て環境づくり              |   | ② 福祉にやさしい交通環境の充実                  |   | ③ よりよい生活環境づくり                   |   | ④ 健康・長寿                                 |  |
|-------------------------------|---|-----------------------------------|---|---------------------------------|---|---|--|
| 保育所不足及び待機児童の問題                | ○小規模保育や事業所内保育を含めた保育所の整備   | 音響式信号機や押しボタン式の信号委を設置する            | ○町内危険ヵ所点検の実施及び整備優先順位の整理（地区ごとに）<br>○道路交通危険を示したマップの作成   | 老人クラブの活動は活発であるが加入者が減少している       | ○老人クラブ加入者を増加させるための取り組みや呼びかけを強化  | 普段から運動しやすい環境が整っている                      | ○地域別夜間ウォーキングマップを作成し、コースの街灯や防犯カメラの増設  |
| 保育士及び幼稚園教諭不足                  | ○職員の賃金の見直しや福利厚生の実施<br>○町による補助の実施<br>○退職した保育士等へのボランティア要請                                       | 道路幅員の拡幅が必要                        | ○新庁舎建設と合わせた道路幅員の拡幅整備  | 町民間で助け合う制度の確立が必要                | ○社協で実施しているおまかせ会員制度の継続<br>○与那原町民が話し合う機会の創出<br>○自治会加入率の増加<br>○区単位での勉強会の実施<br>○母子・父子家庭と民生委員の交流会開催<br>○町民同士で困っている家族等へ支援等の教授       | 東浜は散歩コースが整備されている                        |  |
| 保育所内での一時預かり保育等が不十分            | ○元保育士や地域住民の協力を得ながら公民館を活用した保育の実施<br>○資格有無に関係なく保育士として働ける環境整備                                    | 道路の溝に杖等が入り危険である                   | ○年に 1 回の町内危険箇所点検の実施   |                                 |   | ⑤ モノとココロのバリアフリー                         |  |
| 母子・父子家庭への支援                   | ○希望する世帯へのライフプランアドバイザーの派遣<br>○広報及び社協会報による情報提供<br>○町の各種制度の一元化（総合案内窓口の設置）<br>○おさがりを共有するなど助け合いの確立 | 交通弱者に対しデマンドタクシーやコミュニティバスの運行が求められる | ○高齢者や障がい者のための移動手段の確保<br>○デマンド・コミュニティバスや福祉タクシー等の運行を早期実現<br>○コミュニティバスを隣接市町村と共同運行              | NPO など福祉に関する第三者的立場からの相談機関があるとよい | ○困ったことがあったら気軽に相談できる体制の構築<br>○町議会や事務局が主導し、行政モニターや相談窓口などの制度を企画と各委員会で内容確認  |   |  |
| 早期から一貫した特別支援の実施が必要            | ○各保育所及び幼稚園への心理士配置<br>○専門家やボランティアの増加   | 高齢者や障がい者のための移動手段の確保が求められる         | ○行政区ごとに区長が区内の交通弱者を週 1 回程度で買い物や病院に連れていく<br>○区で予約制の介護タクシーを運営（町内 500 円など）<br>○アンケート調査等によるニーズ把握 | 障がい者・子ども・高齢者等全ての町民が集える場所や機会が少ない | ○障がい者スポーツなどは健全者でも行えるため町の大会やイベントとして実施<br>○交流場所としてひざしを活用（利用できることを周知）<br>○新庁舎建設の際に町民が集えるロビーの整備<br>○公民館の活用と開放（子育てサロンとミニデイを同時開催など） | 車椅子では危険な場所や電動車椅子が利用できるトイレ等を明記した道路マップが必要 | ○町によるバリアフリー機能の向上<br>○バリアフリー化するまでは補助係を配置<br>○車いすを用意し補助係による段差や階段等の手助け（声かけなど）   |
| 発達障がい保育等、保護者に対する支援の充実が求められる   | ○スクールソーシャルワーカーの増員<br>○行政主導のもと、NPO 等第三者相談機関の設立   |                                   |   |                                 |   | イベント時において手話等のサポートを充実させる必要がある            | ○公共施設や商業施設、各区の掲示板等への町内危険箇所マップの設置<br>○子どもや身障者、高齢者、妊婦など様々な立場の方から各区で意見を聴いたうえでの道路マップ作成   |
| 町内に重症心身障がい児や医療的ケア児支援のための施設がない | ○療育センター等専門の施設の設置<br>○障がい児保育や保護者への支援ケアの充実<br>○現状と救済措置の周知                                       | バス停の屋根やベンチ等の設置が必要                 | ○ベンチや屋根の設置<br>○廃棄の板等を利用し、各の青年部や大人が協働でボランティア活動としてベンチ作成（町からの補助も行う）                            | 子どもの挨拶がない                       | ○就学前児童を持つ親や社会全体に対する教育<br>○学校教育の充実<br>○地域全体での見守り強化<br>○大人から積極的な挨拶の実施<br>○祖父母との同居や二世帯住宅建築等への補助など保護者支援の推進                        |   | ○事前に広報やチラシによりサポートできる人を募集<br>○リストバンド等を作成しサポートが必要な人が一目でわかるように<br>○障がい者がイベント時にどのようなサポートを必要としているか把握するためのニーズ調査を実施<br>○福祉サービスにおいて手話通訳の派遣を行っていることを広報等で周知<br>○手話サークルの協力を得て、与那原祭りなど町の行事への手話通訳者の派遣<br>○手話等ボランティア登録制度 |
| 児童・生徒にボランティア精神がない             | ○機会の創出<br>○地域行事や社協行事等でボランティア活動ができるような仕組みづくりの推進<br>○小中学校が連携した道徳的ボランティア活動の企画                    | 与那原東小学校前の道路はスピードを出す車も多く危険である      | ○信号機の設置   |                                 |   |   |  |